遮音壁の設計計算 Ver.4

JH設計要領に準拠し、遮音壁の設計計算を行なうプログラム

プログラム価格
¥157,300
(税抜¥143,000)

Windows 8/10 対応
電子納品 3D PDF

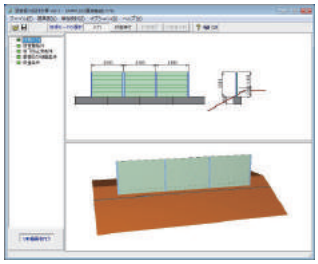
JH設計要領第五集「遮音壁設置要領」に準拠し、遮音壁の設計計算を行うプログラムです。遮音板の種類としてはコンクリート板、金属板、アクリル板を用意し、それぞれ任意サイズを登録追加可能です

- 支柱形式：直壁タイプ、張出しタイプ（直線＋円弧）先端分岐型タイプ
- 支柱部材：H形鋼（任意サイズを自由に登録追加可能）
- 支柱断面：断面変化（継手の設置）、経済設計が可能
- 大型遮音壁の設計も対応
- 基礎形式：鋼管杭基礎、直接基礎、高欄取付け
- 杭基礎の設計：水平方向の安定照査、杭体応力度照査
- 直接基礎の設計：地盤の鉛直支持力、転倒・滑動に対する安定照査
- 高欄取付け・ボックスカルバート上部取付け：アンカーボルトの設計
- 荷重：死荷重、風荷重、土圧考慮、支柱付根断面力が最も不利になるよう載荷
- 落下防止索の安定照査が可能

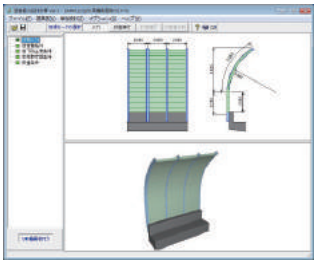
適用基準及び参考文献

1. 設計要領第五集 交通管理施設等編 遮音壁設計要領 H29年7月 NEXCO
2. 設計要領第五集 交通管理施設等編 遮音壁設計要領 H28年8月 NEXCO
3. 設計要領第五集 交通管理施設等編 遮音壁設計要領 H27年7月 NEXCO
4. 遮音壁標準設計図集 H11年12月 日本道路公団
5. 道路橋示方書・同解説 Ⅳ下部構造編 H14年3月 日本道路協会

▼メインウィンドウ（直接基礎タイプ）



▼メインウィンドウ（高欄取付タイプ）



道路標識柱の設計計算 Ver.3

道路標識ハンドブックに準拠した、道路標識柱の設計計算プログラム

プログラム価格
¥190,300
(税抜¥173,000)

Windows 8/10 対応
3DA対応
電子納品 3D PDF

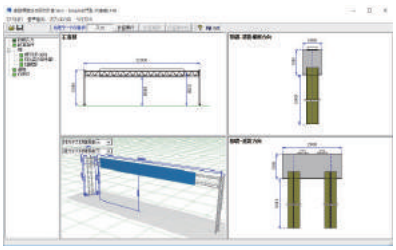
『道路標識ハンドブック 2012年度版』に記されている照査内容に基づき、柱や基礎の検討を行う道路標識柱の設計計算プログラムです。

- 柱形状：路側式の「単柱型」と「複柱型」、片持ち式の「F型」、「逆L型」、「T型」、門型（鋼管トラス構造）に対応
- F型・逆L型・T型：添架式標識に対応
- 単柱型：「円形」「長方形・正方形」「三角形・逆三角形」「ひし形」「五角形」に対応
- 単柱型の場合、標識の中心線の支柱からのずれを考慮した検討可能
- T型：梁材が1本の場合や、左右の標示板の大きさが異なる非対称形式も対応
- 基礎部：土柱埋込式（根かせあり/なし）、ケーソン式、直接基礎、杭基礎（2本杭）
- 梁部、柱部、柱と梁の継手部、開口部、柱脚部、基礎の照査に対応
- 直接基礎・杭基礎：土被り厚を考慮した計算に対応／支柱位置の偏心に対応／道路横断方向の安定照査及びフーチング照査に対応
- 無筋コンクリート照査対応
- ハンドブック内で示されている風時の照査をサポート
- 直接基礎のフーチング照査に対応

適用基準及び参考文献

1. 道路橋示方書・同解説 Ⅳ下部構造編　平成24年3月、社団法人 日本道路協会
2. 道路標識ハンドブック　2012年度版、一般社団法人 全国道路標識・標示業協会

▼メイン画面



▼初期入力画面

防護柵の設計計算 Ver.2

車両用防護柵の安定計算、構造計算プログラム

プログラム価格
¥88,000
(税抜¥80,000)

Windows 8/10 対応
3DA対応
電子納品 3D PDF
体験セミナー

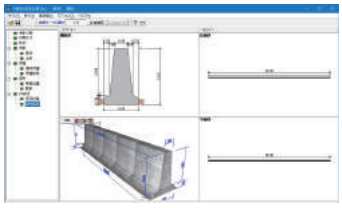
車両用防護柵は、自動車が道路外へ脱するのを防止し、道路の安全を確保するための構造物です。防護柵の種類として「剛性防護柵」と「たわみ性防護柵」がありますが、両防護柵の計算に対応しています。

- 剛性防護柵：単スロープ型、フロリダ型の設計計算、防護柵基礎を含めた安定計算が可能
- 転倒・滑動照査に対して受働土圧を考慮可能
- 荷重：躯体自重、衝突荷重、受働土圧を考慮可能
- 安定計算（転倒、滑動、地盤反力）・構造計算（曲げ応力度照査）
- たわみ性防護柵：標準型・耐雪型（路側、分離帯・歩車道境界）から選択可能
- 3DモデルのIFC形式やAllplanで読み込み可能な形式で出力可能

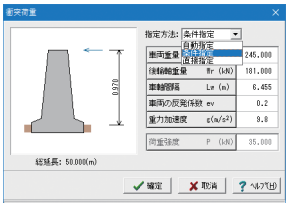
適用基準及び参考文献

1. 車両用防護柵標準仕様・同解説 H16年3月 日本道路協会

▼メイン画面



▼衝突荷重画面



管の断面計算 Ver.2

剛性パイプカルバート/たわみ性カルバートの設計計算プログラム

プログラム価格
¥107,800
(税抜¥98,000)

Windows 8/10 対応
電子納品

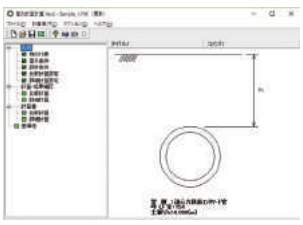
「道路土工カルバート工指針（H.22.3・H.11.3）」や「設計要領第二集カルバート編（H.18.4）」、「農道設計指針（R.2.4）」に記述されている「剛性パイプカルバート」、「たわみ性カルバート」の設計計算を支援するプログラムです。

- 基礎形式：砂基礎、コンクリート基礎
- 埋設形式：突出型、溝型（半溝型）、杭基礎の場合、突出比での処理が可能
- 比較計算：土被り厚・管径等の選定のため、複数パターンの計算を一括で実行
- 詳細計算：既定の土被り厚や管径等を入力し、詳細な結果を確認

適用基準及び参考文献

1. 土工指針 道路土工カルバート工指針 H22年3月、11年3月 日本道路協会
2. 設計要領第二集カルバート編 H18年4月 NEXCO
3. コルゲートメタルカルバートマニュアル 第三回改訂版 地盤工学会
4. 農道設計指針 R2年4月 北海道農政部

▼メイン画面



▼設計条件画面